

令和2年度 学校アンケート集計結果(教職員)令和2年11月実施

	評価項目	評価指標(評価の観点)	評価(%)				概 評
			A	B	C	D	
①	校務の効率化、教育課程の検討、授業改善	生徒との時間をより多く確保するために、校務を効率化することができたか	8.5	61.0	30.5	0	概ね肯定的評価。特に「主体的・対話的で深い学び」を実践するための指導法の工夫については高評価となっている。一方「生徒との時間の確保」や「校務の効率化」に対しては更なる工夫が必要であると思われる。「新教育課程」については継続的検討が必要と思われる。
		本校の特色を活かした新教育課程を検討することができたか	5.1	72.9	18.6	3.4	
		「質」の高い教育を維持するとともに「主体的・対話的で深い学び」、探究的な学びを実践するための指導法の工夫(ICT機器の活用)を図ることができたか	11.9	69.5	18.6	0	
②	大学入試改革への対応、学力向上と進路意識の高揚を目指した組織的な取組の強化、将来の自己実現の基盤となる心豊かな人間性と自己指導能力の育成	大学入学共通テスト等の情報収集及び対策を検討することができたか。また、UJOKOZAの実施内容を改善することができたか	10.2	66.1	20.3	3.4	概ね肯定的評価。ただし「大学入学共通テスト等の情報収集及び対策」や「UJOKOZAの内容改善」に関しては学校として更に検討を進める必要がある。今後も情報収集に努め、組織的な学習・進路指導体制を作り上げていけるよう、更なる努力が必要だと思われる。
		県指定事業の活用による三年間を見通した組織的な学習・進路指導体制の推進を図ることができたか	3.4	69.5	25.4	1.7	
		将来の自己実現の基盤となる心豊かな人間性と自己指導能力の育成に取り組むことができたか	20.3	72.9	6.8	0	
③	「総合的な探究の時間」「総合的な学習の時間」における探究活動の充実、課題研究から自由研究へと発展する探究活動の展開	「総合的な探究の時間」及び「総合的な学習の時間」における探究活動を充実させ、1年次と2年次の連続性のある計画的な実施をすることができたか	27.1	62.7	10.2	0	高評価。「探究活動」及び「自由研究」への取組について学校としての組織的取組の方向性が示され計画的な活動が実施された。作品の評価も行われ、優秀作品については全体での発表会が実施できたことも評価できる。
		本校特有の「自由研究」への積極的な取組を推進することができたか	13.6	74.6	11.9	0	
④	家庭と連携した生徒指導や教育相談の充実、学校ホームページ等による保護者、地域への積極的な情報発信	生徒の情報の速やかな把握と共有化及び保護者との連携強化を図ることができたか	23.7	72.9	1.7	1.7	高評価。「生徒指導及び教育相談の充実」について学校としての組織的取組が進んでいることが評価された。今後は生徒一人一人への細やかな対応を更に検討して行くことが重要であると思われる。
		部活動の適正な実施と不断の見直し・点検、ヒヤリハットの共有等が適切に行えたか	15.3	83.1	1.7	0	

評価基準 A:十分満足できる B:概ね満足できる C:努力を要する D:一層の努力を要する

令和2年度 学校関係者評価結果(学校評議委員5名) 令和3年2月実施

・「UJOKOZA」の実施方法については、検討が必要と思われる。

・学校におけるガバナンスは難しいと聞きますが、組織目標の共有と実際の取組が徹底されているのか、無駄のない学校経営のためには、何を整理していく必要があるのかを検討してはいかがでしょうか。

・結果を見ると、生徒よりも保護者のほうが熱心なようです。しかしほとんどの設問に両者とも80%を超える満足度を示しているので、学校運営は成功だと思います。

・進学校であるため進路や学力に関する悩みが多いように思われる。やはり意欲のある生徒とそうでない生徒との格差や、その指導法に悩みがあるように思われる。難関校への進学実績は重要な指針であると思われます。はっきりと方向性を決めていけると良いと思います。

・年度ごとの学校評価は、生徒・教師・保護者別となっていますので、比較しやすいと思います。それぞれ立場が違うことがよく示されています。しかし、あまり神経質に捉える必要は無いのではと思いますが、継続して実施することは学校教育において目に見えない成果につながることは確かです。

・圧倒的に自習できる場所が少ないように感じます。明鏡寮なども使えたと聞いていますが、部活で使用していると利用できなかつたり、食事する所がない状態があると聞きます。自習場所の確保の検討が必要であると思われます。

